

学校授業でご活用ください!

環境学習教材集



編集：滋賀県地球温暖化防止活動推進員教材開発チーム

監修：滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

はじめに

『公益財団法人 ^{おうみ} 淡海環境保全財団』は、地球温暖化対策の推進に関する法律第38条に基づき、平成12年に滋賀県知事から『滋賀県地球温暖化防止活動推進センター』の指定を受けています。センターでは、県内で地球温暖化問題についての気づきと行動のための拠点として、相談や助言、講座の開催などの、普及啓発広報活動を行っています。

また、滋賀県知事から委嘱された『滋賀県地球温暖化防止活動推進員』と一緒に、地球温暖化防止の啓発イベントや出前講座を県内各地で行うとともに、より分かりやすくお伝えすることを目的に、様々な教材の開発にも取り組んできました。

このパンフレットは、『滋賀県地球温暖化防止活動推進センター』と『滋賀県地球温暖化防止活動推進員』が、20年間にわたり改善を重ねながら実施してきたプログラムから、学校での出前授業として採用実績の多いプログラムを抜粋したものです。

ぜひご覧いただき、巻末の「出前講座申込書」により当センターへお申し込みください。また、何かご不明点があればお気軽にお問合せください。

子どもたちの未来を地球温暖化から守るため、より多くの方々に利用いただければ幸いです。

- 滋賀県(CO₂ネットゼロ推進課)の委託事業の一環として実施しますので、受講料は必要ありません。
- いずれのプログラムも、1クラス(約30人程度)を対象にしています。
- 今後、40分授業に移行した場合は、調整して実施します。

もくじ

プログラム

地球温暖化ってなあに？	1
生きているびわ湖(フローティングスクール事前学習)	2-3
森とつながろう!(やまのこ事前学習)	4-5
みんなで考えよう!プラスチックとごみ問題	6-7
食とエネルギー	8-9
ふろしきの使い方 ～日本文化の伝承～	10
あっとホーム	11
雲を作ってみよう	12

出前講座申込書

地球温暖化ってなあに？



ねらい



- ①地球温暖化がどのようにして起こるのか、またその影響を理解する
- ②地球温暖化を防ぐために、どうしたらよいか考え、実行する



<使用するもの> 「地球温暖化ってなあに？」教材一式（パネル、キーワード、イラスト類、台風写真パネル等）
<会場でご用意いただくもの> ホワイトボード

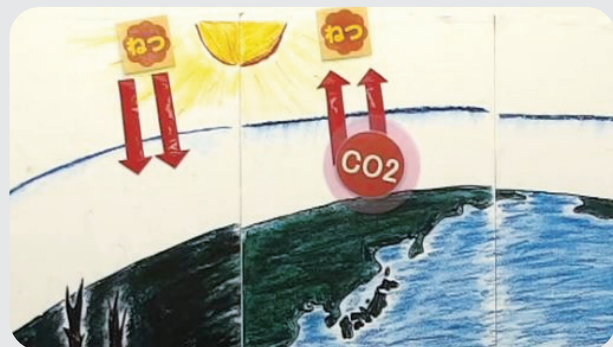
進行手順（所要時間）

活動1: すでに地球の温暖化は進行しているが、どのような影響が出ているのか理解する（2分）

- 1) 具体的な事例を写真パネルで見る
・直近の台風の被害など

活動2: 地球温暖化はどのようにして起こるのか理解する（3分）

- 1) 温まった熱を逃がさないCO₂（二酸化炭素）などの温室効果ガスが増加している
- 2) CO₂は私達が便利で快適な生活をすればするほど増えていく
発生源は私たちであることに気づく



活動3: このまま地球温暖化が進むと、地球に様々な影響が現れることを理解する（5分）

- 1) 北極や南極の氷がとける 高い山の雪がなくなる
- 2) 海水温が上がり、サンゴ礁が死滅（白化）する
- 3) 日照りが続き、山火事の発生や、砂漠化が進行する
- 4) 台風が強大化したり、大雨が降りやすくなる

活動4: 地球温暖化を防ぐにはどのようにしたらよいのか考える（5分）

- 1) 電気製品や自動車を効率的に使う
- 2) むだなエネルギーを使わない暮らし方をする
- 3) 考えたことを家族や友達に話す
- 4) 自分にできることをまず実行する

著作：「地球温暖化ってなあに？」作成プロジェクトチーム

このプログラムは、パワーポイント版で実施することも可能です

関連する
単元

日本文教出版
開隆堂
東京書籍
日本文教出版
東京書籍
啓林館

小学社会4
私たちの家庭科5・6
新編 新しい社会6 政治・国際編
小学社会6
新編 新しい理科6
わくわく理科6

健康な暮らしを守る仕事（学習資料 わたしたちの暮らしと電気）
持続可能な社会のために
世界の中の日本（世界の未来と日本の役割）
世界のなかの日本とわたしたち（世界がかかえる問題と日本の役割）
地球に生きる
自然とともに生きる

対象者

小学5年生
以上

フローティングスクール事前学習プログラム

生きているびわ湖

所要時間

90分
(二校時分)

ねらい

- ①びわ湖のすばらしさと、びわ湖と自分のつながりに気づき、興味をもって「うみのこ」乗船につなげる
- ②びわ湖への愛着を大切にする気持ちを育てる



<使用するもの> 「地球温暖化ってなあに?」教材一式/びわ湖ボックス(20cm角の箱各面に写真を貼ったもの32個(全体高さ80cm×幅160cm×奥行20cm) 実物大びわこオオナマズシートなどキット/宣言カード/セロハンテープ

<会場でご用意いただくもの> ホワイトボード・長机3台/サインペン(ネームペン)

進行手順(所要時間)

活動1: はじめに(2分)

- 1) 今日の講座の目的や流れについて説明を聞く

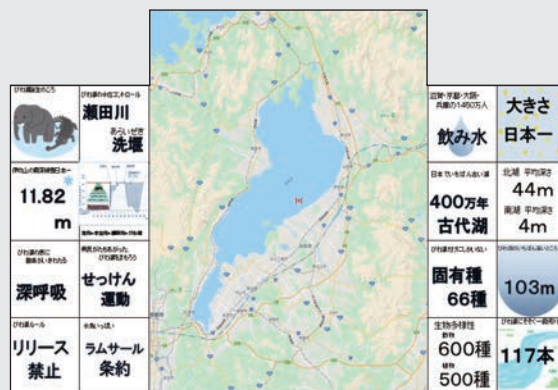
(写真1)

活動2: 地球温暖化ってなあに?(15分)(1ページ参照)

- 1) 地球温暖化について知る

活動3: 滋賀県の地図とキーワード(15分)(写真1)

- 1) 滋賀県地図への導入として、学校の位置を確認する
- 2) クイズ“びわ湖は滋賀県の何分の1?”(写真2)
- 3) 大きさと地形・大切な飲み水について聞く
- 4) 歴史・固有種・生き物について聞く



(写真2)



活動4: 夏のびわ湖の生きもの(15分)(写真3)

- 1) ボックスの見方の説明を聞く
- 2) 固有種について、知っている生き物を挙げてみる



(写真3)

- 3) びわ湖固有の生態系と食物連鎖について、実物大ビワコオオナマズシートを使って、理解する (写真4)
- 4) 外来種の問題について考える

活動5: 冬のびわ湖の生きもの (13分) (写真5)

- 1) 夏と冬とでは生きものがどう変わったのか、気づいたものを挙げる
- 2) ラムサール条約に登録されるほどたくさんの水鳥がいる理由を考える
- 3) 「びわ湖の深呼吸」(全層循環)と地球温暖化の影響について知る



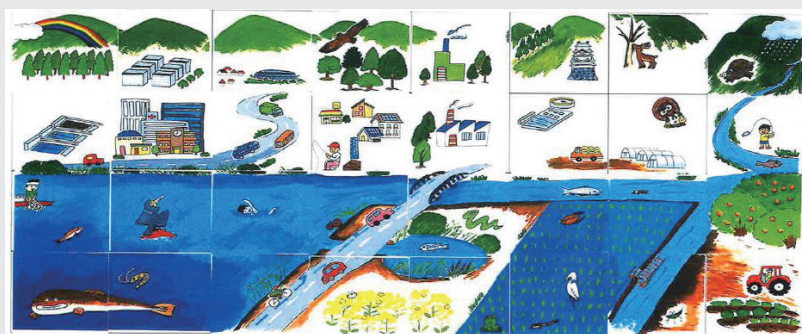
(写真4)



(写真5)

活動6: ワークショップ つながり (27分) (写真6)

- 1) びわ湖と周りで暮らしている私たちと、どんなつながりがあるか考える
- 2) びわ湖宣言: びわ湖へのおもいをカードに書く
(例: すごいところ・気づいたこと・「うみのこ」に乗ってやってみたいこと)
- 3) びわ湖宣言しながら、カードをボックスに貼っていく (写真7)



(写真6)



(写真7)

活動7: ふりかえり (3分)

- 1) みんなのびわ湖宣言をまとめて、共有する
- 2) 「みんながびわ湖のことを考えることが大切で、そのために・・・」
びわ湖ボックス最後の面の写真を見て「うみのこ」乗船に期待がふくらむ

著作: 「生きているびわ湖」 作成プロジェクトチーム

関連する
単 元

フローティングスクール事前学習
総合学習

対象者

小学4年生
以上

「やまのこ」事前学習プログラム 森とつながろう!

所要時間

45分
(一校時分)

ねらい

- ① 森の生態系や地球温暖化防止における森のはたす役割を知る
- ② 木製品などとのふれ合いを通して、日々の生活と森とのつながりに気づき、森への興味・関心を高める

<使用するもの> PC、パワーポイント、パネルと支える台、小さな木片、マグカップ(陶器)、コップ(ガラス)カップ(金属)、お椀(木製)、氷水の入った水筒(150ml×4×3セット)プラスチックの水槽、「木づかいクイズ」のカードや木製品など子ども達に配布するワークシート(人数分)

<会場でご用意いただくもの> プロジェクター、スクリーンまたは、電子黒板、パネルを載せる台、長机5台

進行手順(所要時間)

活動1: はじめに (3分) <パワーポイント>

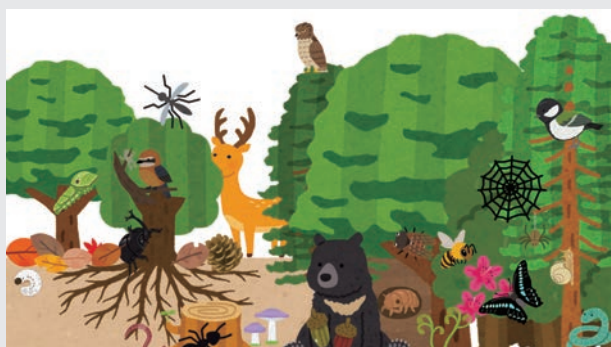
- 1) 今日の講座の目的や流れについて説明を聞く

まずは、「やまのこ」

森とつながろう

活動2: 森の生態系 (10分) <パワーポイント>

- 1) 「やまのこ」の活動場所である山や森の中には、色々な生き物がいて、互いにに関わり合って、生きていることに気づく



活動3: 森の循環 (10分) <パワーポイント>

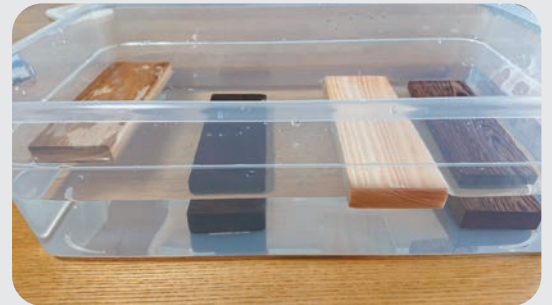
- 1) 地球温暖化との関連において、木が二酸化炭素を吸収することを知る
- 2) 「森の循環」を繰り返していくことで、森には日光が差し込み、新たに植えられた木々は、どんどん二酸化炭素を吸収し、「森の生態系」を保っていけることを理解する



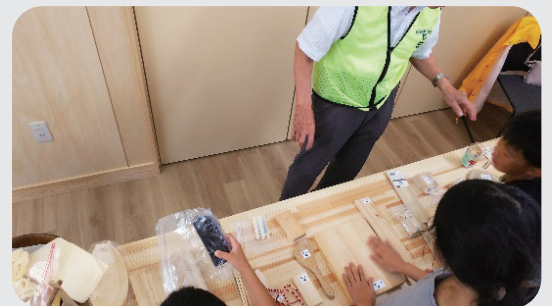
活動4: ワークショップ ～五感を通した木とのふれあい～ (20分)

- 1) 木のよさや持ち味を、五感で感じる (3つのコーナーを設置)
ワークシートに書き込む

- ①「どれが、つめたい?」 木の熱の伝えにくさを感じる
マグカップ (陶器)、コップ (ガラス)、カップ (金属)、お椀 (木製)
冷水で体感
- ②「どれがおもい?」
何種類かの木片の重さの違いを感じる
※予想した後で、水槽に入れた水に木片を浮かべて、確かめる
- ③「どのにおいがすき?」
クスノキ等の木片のにおいの違いを感じる
(においを感じにくい木も入れる)



- 2) 「木づかいクイズ」 をコーナーの横に設置
実際に使用している製品などにふれて、
何故その木が使われているかを考える
(実物が用意できない物は、写真で提示)



活動5: ふりかえり (2分) <パワーポイント>

- 1) 「やまのこ」に行き行ってやってみたいこと (講座を受けて印象に残ったこと) をワークシートに書く



やまで健康になる、やまを健康にする 県民アクションガイド (滋賀県) より

著作: 「森とつながろう」 作成プロジェクトチーム

関連する
単 元

やまのこ事前学習
東京書籍
日本文教出版

新編 新しい社会5下
小学社会5

わたしたちの生活と環境 (わたしたちの生活と森林)
国土の環境を守る (森林とわたしたちの暮らし)

対象者

小学4年生
以上

みんなで考えよう!

プラスチックとごみ問題

所要時間

45分
(一校時分)



ねらい



- ①プラスチックは私たちの生活に欠かせないものであるが、一方でさまざまな問題が起こっていることを理解する
- ②このまま人間がプラスチックをどんどん使い続けると、私たちの暮らしや地球環境はどのようなようになるのか学習する
- ③プラスチックとごみ問題を私たちはどうすればよいか考える



<用意するもの> PC、「プラスチックとごみ問題」PPTデータ/お買い物かごキット/マイクロプラスチックサンプル
<会場でご用意いただくもの> プロジェクター・スクリーンまたは電子黒板、長机(1台)

進行手順(所要時間)

活動1: はじめに(2分)

- 1) 今日の講座の目的や流れについて説明を聞く

活動2: 地球温暖化ってなあに?(15分)(1ページ参照)

- 1) 地球温暖化について知る

活動3: プラスチックとは(7分)

- 1) 「見つけようプラスチックとちがうもの」
買い物かごに入ったものが、プラスチック製品か、
そうでないかひとつずつ取り出して考える
- 2) 「プラスチックとは?」
プラスチックの原料や性質についてクイズを通して知る
 - ・どのような性質があるのか
 - ・何から作られているか
 - ・プラスチックが使われているもの(クイズ)
- 3) 「プラスチックの良いところ悪いところ」

活動4: プラスチックごみについて考えよう(7分)

- 1) 「ボイ捨てされたプラスチックごみ」(川のボイ捨ての写真)
 - ・ボイ捨てされたごみのゆくえは
 - ・プラごみが海まで流れること
 - ・いつまでもなくならないプラスチックごみ(土に入ったプラごみの写真)
- ① 「これは何でしょう?」
 - ・ヤドカリの引っ越し(ヤドカリ動画とプラごみを背負う写真)

見つけようプラスチックとちがうもの?



?? プラスチックは何から作られているの



原油

海水

土

原油を精製するとナフリン・灯油・アフサなどに分けられ、プラスチックはこのアフサからつくられます。

出典：一般社団法人プラスチック循環利用協会

ボイ捨てされたプラスチックごみ

大津市瀬田を流れる「長沢(ながさわ)川」の写真(2023.2)



写真提供: 大橋

②「もっともやっかいなプラスチックごみ」

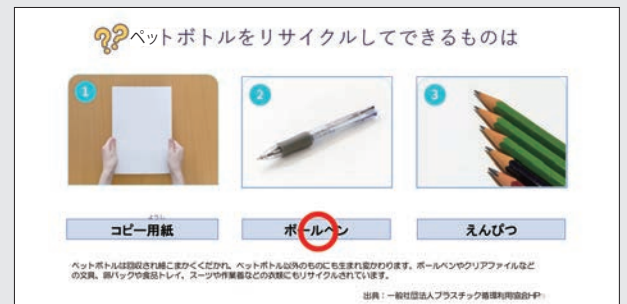
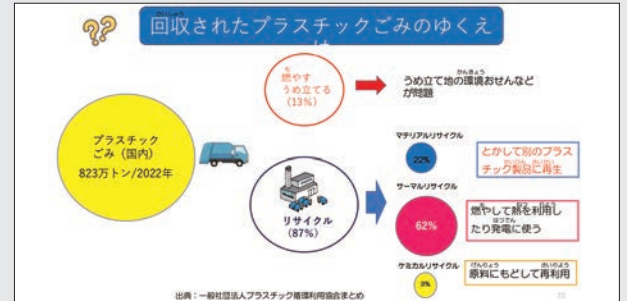
- ・ペットボトル1本からできるマイクロプラスチックの数を考える
- ・マイクロプラスチック
- ・被覆肥料とは
- ・いくつかのマイクロプラスチックができるかな?
- ・海洋プラスチック

2)「回収されたプラスチックごみ」

- ・回収されたプラスチックごみの多くは燃やされており、CO₂発生の原因となることを理解する

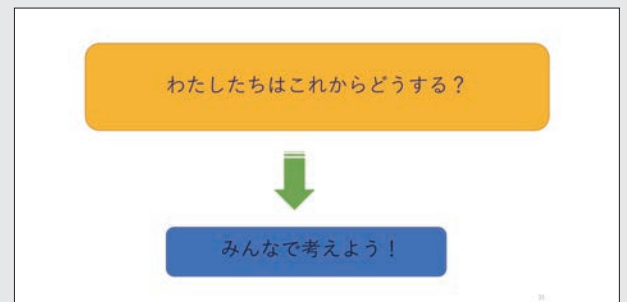
活動5: リサイクルについて知ろう(4分)

- 1) リサイクルの意味とルール
- 2) 3R・4Rの実例
- 3) 分別から始まるリサイクル
- 4) ペットボトルをリサイクルしてできるものは (クイズ)
- 5) 地域によるごみ分別のちがい



活動6: わたしたちはこれからどうする?(5分)

- 1) プラスチックごみの人への影響は
- 2) プラスチックにかわる素材
- 3) プラスチックがなかった時代
- 4) 今日から始めよう私たちにできること



活動7: ふりかえり(5分)

著作：大橋一雄

関連する
単 元

グリーンセンター見学事前学習

東京書籍 新編 新しい社会4
日本文教出版 小学社会4
東京書籍 新編 新しい国語6

住みよい暮らしをつくる (ごみのしやりと利用)
健康な暮らしを守る仕事 (ごみのしやりと活用)
プラスチックごみの問題について考えよう 「永遠のごみ」プラスチック

食とエネルギー



ねらい



① 私たちを支える食べ物と環境のつながりに気付くとともに、食べ物を大切にする心をはぐくむ

② 地球温暖化を防ぐために、食べ物を通して自分たちができることを考え、行動する



<使用するもの> 地球温暖化ってなあに?キット/チラシ/はさみ/世界地図/日本地図/「パンはどこから」カード/各種マークや写真/食べ物の旬キット
<会場でご用意いただくもの> ホワイトボードもしくは黒板

進行手順(所要時間)

活動1: はじめに(3分)

- 今日の講座の目的や流れについて説明を聞く

活動2: 地球温暖化ってなあに?(15分)(1ページ参照)

- 地球温暖化について知る

活動3: 食べ物はどこから～チラシを使って(15分)

- スーパーのチラシから、2種類の食べ物を選び切り取る
- どこから来たのか、世界地図・日本地図の上に置く(写真1)
- 食べ物が、世界中からやってくることに気づく



(写真1) チラシ切り抜きと世界地図

活動4: 地産地消(15分)

- パンの材料が、どこの国から来ているのか世界地図で確認する
- 「パンはどこから」カードを使ってパンが家庭に届くまでの流れを見ながら、遠くから食べ物を運ぶと、どれだけエネルギーを使っているのかを知る(写真2)
- パン1個食べるのに、いかに多くのCO₂を出しているのかに気づく
- 地元の食材を推奨する取組み(おいしがうれしが、環境こだわり農産物など)があることを知る
- 農産物の栽培と環境のかかわりについて理解する



(写真2) パンはどこからカード

活動5: 食料自給率(10分)

- 1) 色々な食べ物の自給率から、多くの食材を海外に頼っていることを知り、食料自給率が低下した理由を考える
- 2) 食料自給率が低いとどのような問題があるのかを考える
- 3) 食料自給率を上げるために何ができるかを考える

活動6: ワークショップ 食べ物の旬(15分)

- 1) グループワークで、食べ物の旬の季節を考える(写真3: 食べ物の旬)
- 2) 野菜が年中手に入る理由を考える
- 3) 食べ物の栽培方法によって、環境に与える影響が変わることを学ぶ
- 4) 旬の食べ物を食べることの大切さを知る

活動7: まとめ(2分)

- 1) 講座で取り上げた用語について再度確認する
- 2) 何を食べるかが、どのように環境問題に結びついているのかを理解する

活動8: 自分たちの食について、できることを考える(10分)

- 1) 現代の日本の人たちの暮らしから、むだなことをしていないか、自分自身の生活をふりかえる(写真4: 手つかずの食品ごみ)
- 2) 小さなこともみんなでやれば大きなことになることに気づく

活動9: ふりかえり(5分)

- 1) 世界では、どのように食べ物が分配されているのか知り、自分たちの暮らしを振り返る
- 2) 講座の全体を振り返り、自分たちにできることは何かを考える



(写真3) 食べ物の旬



(写真4) 手つかずの食品ごみ

2012年12月21日 約50世帯からの手つかず食品
(NHKさきどり取材協力)【提供: 京都大学浅利研究室】

援用: JCCCA (食べ物をめぐる物語)

JCCCA「食べ物をめぐる物語」パンはどこからカード
滋賀グリーン購入ネットワーク「食からはじめるグリーン購入」旬の食材を選ぼう!
京都大学浅利研究室 写真「約50世帯からの手つかず食品」

著作: 「食とエネルギー」 作成プロジェクトチーム

関連する
単 元

東京書籍
日本文教出版

新編 新しい社会5上
小学社会5

わたしたちの生活と食料生産
わたしたちの食生活を支える食料生産

ふろしきの使い方

～日本文化の伝承～

ねらい



①ふろしきの包み方を体験することで、日本の伝統や文化の良さに気づく

②「もったいない」の心に触れ、使い捨ての生活を見直す



<使用するもの> ふろしき (参加人数分+α枚) /
包むもの (箱、ボール、ボトル、レジかごなど)

進行手順 (所要時間)

活動1: はじめに (3分)

- 1) いろいろな柄やサイズのふろしきをみて、興味をもつ

活動2: ふろしきについて知る (10分)

- 1) ふろしき名称の由来、使い方、利点などを知る
- 2) 使い捨ての生活について考え「もったいない」の心に触れる

活動3: 教科書に載っている包み方の例を見る (5分)

- 1) 教科書に掲載されている写真の包み方
 - ・ 四角いもの (花びら包み)
 - ・ 丸いもの (すいか包み)
 - ・ ビン1本、2本 (ビン包み)
 - ・ ギフトラッピング
 - ・ シンプルエコバッグ



すいか包み



ビン包み

活動4: 「真結び」の練習 (10分)

- 1) みんなで真結びの結び方を練習する

活動5: シンプルエコバッグの作成 (7分)

- 1) みんなでシンプルエコバッグを練習する



○真結び



×縦結び

活動6: 1枚のふろしきでできるいろいろな包み方にチャレンジする (5分)

- 1) リュックサックや、シンプルな包み方で教科書や四角いもの、丸いもの (ボールなど) の包み方を体験する

活動7: ふりかえり (5分)

- 1) 活動を通しての感想を共有し、学んだことを整理する

著作: 山本悦子

対象者

小学5年生
以上

あっとホーム

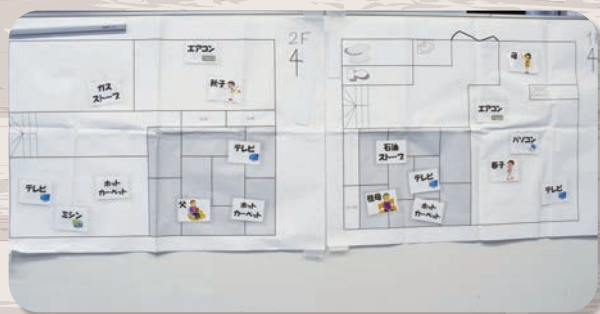
～ゲームを通して家庭内のムダを見つけだしてみよう～

所要時間

45分
(一校時分)

ねらい

- ①多くの家電製品を使用していることに気づく
- ②自分たちが実践できる省エネルギーな暮らし方を見つけ出す



<使用するもの> 配布用カード(読みカード)/絵カード(拡大版用、グループワーク用)/間取り図/A3判ホワイトボード・ペン・イレーザ/筆記用具

<会場でご用意いただくもの> ホワイトボード

進行手順(所要時間)

活動1: はじめに(2分)

活動2: 地球温暖化ってなあに?(15分)(1ページ参照)

- 1) 地球温暖化について知る

活動3:[グループワーク]カードを読み上げて間取り図を完成させる(10分)

- 1) 順番を決め、1人ずつ自分の読みカード(写真1)を読んでいく(他人に見せてはいけない)
- 2) 読みカードの情報をもとに、絵カード(写真2)を間取り図(写真3)においていく
- 3) 最初に完成させたグループは、完成間取り図を持って前に出て、拡大版の間取り図を完成させる

・テレビはすべての和室についています。	・父は、自分の和室に石油ストーブ、母はガスストーブをつけています。
・2階の北側の部屋には、すべてエアコンがついています。	・父はパソコンを使っています。

(写真1)読みカードの例



(写真2)絵カードの例

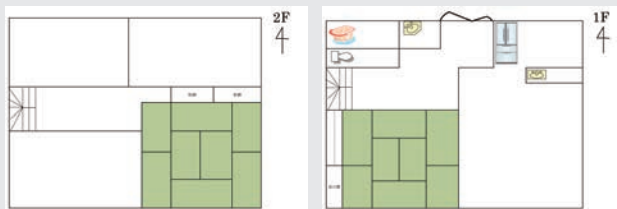
活動4: 完成した間取り図で省エネする方法を考える(15分)

- 1) 間取り図を見て感じることを、どうしたらもっと省エネできるかを絵カードを動かしながら、グループで話し合う
- 2) 具体的にできることとできないことについて意見を出し合い、考えて、ポイントをA3判ホワイトボードに書く
- 3) 省エネ案がまとまったグループごとに内容を発表する

活動5: ふりかえり(3分)

このプログラムには、冬バージョンと夏バージョンがあり、季節ごとの家電の電気使用について考えます。

学校の授業でお使いいただける「教員・指導者向け教材」がホームページからダウンロードできます。



(写真3)間取り図

著作: 来田博美

関連する
単元

東京書籍
開隆堂

新編 新しい家庭5・6
私たちの家庭科5・6

夏をすずしくさわやかに
冬を明るく暖かく
すずしい住まい方で快適に
暖かい住まい方で快適に



ねらい

- ①実験を通して雨や風などの身近な自然現象に関心を持つ
- ②地球温暖化が自然現象に与える影響を考える



＜使用するもの＞ 「雲はどのようにしてできるのか」 説明資料一式/圧縮発火器/雲発生器

進行手順（所要時間）

活動1: はじめに(4分)

- 1) 今日の講座の目的や流れについて説明を聞く

活動2: 地球温暖化ってなあに?(15分) (1ページ参照)

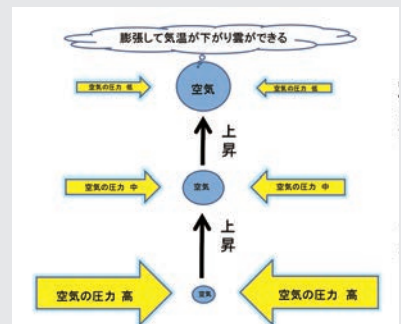
- ## 1) 地球温暖化について知る

活動3: 雲はどのようにしてできるのか (8分)

- 1) 地球温暖化が進むと海水温が上がり蒸発する水分が多くなり雲が多くなることを理解する
(写真1、写真2)



(写真1)



(写真2)

活動4: 気温と温度の関わりを知る実験を見る(5分)

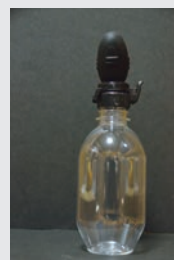
- 1) 圧縮発火器(写真3)のガラスシリンダーに小指の爪大のティッシュペーパーをいれる
- 2) ピストンを急激に押し込むと発火し、下部の窓に赤い炎が見える
- 3) 空気を圧縮させるだけで高温になり逆に膨張させると低温になることを実感する



(写真3)

活動5: 実験で雲を作ってみる(10分)

- 1) ペットボトルに水を少し入れる
- 2) ペットボトルに加圧用のポンプを取り付ける（写真4）
- 3) 加圧用ポンプのロックを止め、ポンプで十分加圧する（20～30回）
- 4) ポンプのロックを外して開け、勢いよく圧を抜く
- 5) ペットボトル内に雲ができる（写真5）



(写真4)



(写真5)

活動6: ふりかえり(3分)

地球温暖化が大雨・大雪などの異常気象につながっていることを理解する

著作：「雲をつくってみよう」 作成プロジェクトチーム

関連する
単 元

東京書籍
啓林館
東京書籍
啓林館

新編 新しい理科4
わくわく理科4
新編 新しい理科5
わくわく理科5

自然のなかの水のすがた
水のゆくえ
天気の変化
雲と天気の変化

出前講座申込書

[年 月 日]

<連絡先>

(学校名)

(担当者名)

(住 所) 〒 -

(TEL)

(FAX)

*日中に連絡がとれる番号

(mail)

@

講座開催日時	第一希望日	月 日() : ~ :
	第二希望日	月 日() : ~ :
開催場所		
主催者名		
イベント名		
テーマ		
希望内容		
参加人数	約 人 年齢層 歳 ~ 歳	
参加対象者	・小学生約 人 ・中学生約 人 ・高齢者(65歳以上)約 人 ・大人約 人(うち・男性約 人 ・女性約 人)	

*お申し込みは1カ月前までをお願いします。希望開催日が重なる場合は、講座にうかがえないことと
 ございますので、お早めにお申し込みください

滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

〒525-0066 草津市矢橋町字帰帆2108番地 淡海環境プラザ

(公財)淡海環境保全財団内

TEL:077-569-5301 FAX:077-569-5304

E-mail:ondanka@ohmi.or.jp

小学校学年別プログラム逆引き表

学年と教科	プログラム名	本誌ページ
小3 道徳	ふろしきの使い方	P.10
小4 理科	雲を作ってみよう	P.12
小4 社会	地球温暖化ってなあに？	P.1
小4 社会	プラスチックとごみ問題	P.6-7
小4 やまのこ事前学習	森とつながろう！	P.4-5
小5 FS事前学習	生きているびわ湖	P.2-3
小5 理科	雲を作ってみよう	P.12
小5 社会	森とつながろう！	P.4-5
小5 社会	食とエネルギー	P.8-9
小5・6 家庭科	地球温暖化ってなあに？	P.1
小5・6 家庭科	ふろしきの使い方	P.10
小5・6 家庭科	あっとホーム	P.11
小6 国語	プラスチックとごみ問題	P.6-7
小6 理科	地球温暖化ってなあに？	P.1
小6 社会	地球温暖化ってなあに？	P.1

上記以外にも多くのプログラムをホームページに掲載しています。
ぜひあわせてご覧ください。

淡海環境 環境学習教材集



滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

公益財団法人 淡海環境保全財団



地域ESD活動推進拠点
Education for Sustainable Development



〒525-0066 滋賀県草津市矢橋町字帰帆2108番地 淡海環境プラザ
TEL: 077-569-5301 FAX: 077-569-5304
URL: <https://www.ohmi.or.jp/ondanka>
E-mail: ondanka@ohmi.or.jp



●用紙: 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
●インキ: 環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
●印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷